

総合コース授業科目

共 通 領 域

令和4年度授業日程

京都府立医科大学大学院医学研究科

《 博 士 課 程 》

履修にあたっては、「大学院履修概要」をよく読み、必要な手続きをとること。

授業科目の名称		取得必要 単位数	授業日程・方法 講義内容	開講時期	取りまとめ 担当教員
必修	統合医科学概論（1単位）	1単位	P.2～3 参照	6, 7, 9, 10月	研究部長
	医学生命倫理学概論1（1単位）	1単位	P.4 参照	8, 9月	瀬戸山教授
	医学生命倫理学概論2（1単位）	1単位	P.5 参照	6～10月	池谷教授
	医学研究方法概論（1単位）	1単位	P.6～10 参照	5, 6, 7, 9月	研究部長
選択	加齢医科学（1単位）	4単位 以上	P.11 参照	10, 11月	水野教授
	医療レギュラトリーサイエンス学 （1単位）		P.12 参照	6, 7, 9, 10月	林教授
	応用言語学（1単位）		P.13 参照	4, 5, 6, 7月	木塚教授
	基礎統計学（1単位）		P.14～15 参照	9, 10, 11月	長崎教授
	大学院特別講義 （8回受講→1単位）		随時 日程は都度周知	通年	研究部長

<履修要件>

**【必修科目】 1～3年次の間に履修**

統合医科学概論 : 2講以上受講すること。

医学生命倫理学概論1 : 最低3講以上受講の上（同内容の講義回への出席は1回とカウント）、担当教員が課す各回のフィードバックコメントシート及びレポート課題を提出すること。なお、単位認定及び成績評価は、出席要件を満たし、レポート課題を提出した年度又は3年次の年度末に行う。

医学生命倫理学概論2 : 最低2講以上受講の上、受講した講義の担当教員が課す課題またはテストにおいて60点以上得点すること。

医学研究方法概論 : 「RI研究方法特論」「実験動物学研究方法特論」の受講は必須とし、その他2講以上受講すること。

**【選択科目】 1・2・3・4年次のうち1年間で履修**

加齢医科学 : 2講以上受講すること。

医療レギュラトリーサイエンス学 : 2講以上受講すること。

応用言語学 : 大学院履修概要を参照のこと。

基礎統計学 : 大学院履修概要を参照のこと。

**【大学院特別講義】 1～4年次の間に任意履修 ※履修登録は不要**

大学院特別講義 : 8回の受講を1単位として認定

（受講回数は、受講票により各人で管理することとし、単位は、毎年度1月中旬頃に受講票を教育支援課に提出することにより認定される）。

<成績評価> 共通領域の必修科目の成績評価（優、良、可、不可）は、履修が完了する年度に行う。

# 令和4年度 統合医科学概論 講義日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 必修科目)

<p>6月21日(火) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>大学院の研究とは</b>  担当 : 統合生理学 八木田教授</p> <hr/> <p>医学研究とは何か、歴史や社会的意義を含めて議論する。また医学研究に向き合う姿勢と倫理に関して議論する。</p>
<p>7月5日(火) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>予後因子解析と臨床予測モデル構築</b>  担当 : 生物統計学 手良向教授</p> <hr/> <p>予後/リスク因子解析は観察研究等のデータから重要な情報を得る基本的手法の1つである。また、患者をリスクグループに分類する臨床予測モデルは臨床に有用なツールとなり得る。本講義では、予後/リスク因子解析および臨床予測モデル構築の方法論を基礎から解説する。</p>
<p>7月19日(火) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>臨床研究と生命倫理</b>  担当 : 医療フロンティア展開学 高木准教授、今井講師</p> <hr/> <p>ヒトを対象とした臨床研究を計画し実施する上で必要な医師・研究者としての生命倫理について、法制度、各種ガイドラインを含めて解説する。</p>
<p>7月21日(木) 14:30~16:00 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>疫学研究の歴史と研究デザイン</b>  担当 : 地域保健医療疫学 小山講師</p> <hr/> <p>疫学は人の集団を対象として、主として健康状態とそれに関連する要因の分布を明らかにすることを目的にしている。疫学の歴史を振り返るとともに、疫学研究のデザインについて概説する。</p>
<p>9月5日(月) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>疼痛治療学と緩和医療学</b>  担当 : 疼痛・緩和医療学 天谷教授</p> <hr/> <p>緩和医療・緩和ケアの概念・歴史、日本での緩和ケアの現状と課題について概説する。また、がん患者を中心に全人的苦痛に対する緩和の実際を、特にがん性疼痛の緩和を中心に説明する。</p>
<p>9月21日(水) 16:10~17:40 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>リアルワールドデータを用いた「医療の質」評価と医療サービス研究</b>  担当 : 医学・医療情報管理学講座 猪飼教授</p> <hr/> <p>レセプトデータや DPC データなどの医事データは、ランダム化比較試験をはじめとする実験的な診療環境とは異なり日常の実診療を反映する「リアルワールドデータ(RWD)」に位置づけられ、医療の質指標・ベンチマーキングや地域医療体制を評価する医療サービス研究、さらにはコホート研究を補完・代替するデータとしても試行的に活用され始めている。本講義ではこれら RWD の特性と活用法について概説する。</p>

<p>10月13日(木) 14:30～16:00 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>近代医学の成立</b></p> <p style="text-align: right;">担当 : 医学生命倫理学 八木研究教授</p> <hr/> <p>京都療病院創立に関する新知見をテーマに講義する。</p>
<p>10月27日(木) 14:30～16:00 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>医学研究と利益相反 (Conflict of Interest)</b></p> <p style="text-align: right;">担当 : 医学生命倫理学 瀬戸山教授</p> <hr/> <p>製薬企業と研究者との間の経済的利益関係や癒着など、職務上のさまざまな構造的な要因が研究不正の背景にはある。利益相反 (Conflict of Interest) のマネジメントは、利害関係を可視化し、中立な研究が阻害されないように研究環境をガバナンスし、研究の信頼性維持に不可欠なものである。本講義では、臨床研究法や海外の動向を踏まえながら利益相反マネジメントの意義と現状、そして課題について考える。</p> <p>※10分以上の遅刻及び10分以上早くの退出は出席とみなされない。出席及び提出する授業フィードバックコメントシートの内容によって評価する。</p>

※ 履修要件： 2講以上受講すること。

# 令和4年度 医学生命倫理学概論1 講義日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 必修科目)

<p>8月30日(火) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p><b>第1講:生命倫理・医療倫理の諸原則とパターンリズム</b> 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授</p>
<p>9月1日(木) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p>生命倫理学(医療倫理学や臨床倫理学)とは何かについて、その学問上の射程と方法論を自然科学との違いの観点から講義する。基本的な分析指標となる自己決定制約の四原理：(1)危害(加害)防止原理、(2)不快防止原理、(3)モラリズム、(4)パターンリズム、及び生命(医療)倫理の4原則：(1)自律尊重の原則、(2)無危害の原則、(3)善行(仁恵)の原則、(4)正義・公正について相互の対立関係と調整の必要性についての理解を深める。</p>
<p>9月5日(月) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p><b>第2講:遺伝学的情報のプライバシーと遺伝子差別</b> 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授</p>
<p>9月6日(火) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p>遺伝子検査技術の劇的な進歩と低コスト化により、ゲノム解析研究や遺伝子検査ビジネスが急成長してきている。遺伝学的情報の解明は、遺伝性疾患の治療や予防、ゲノム創薬や個別化医療の促進などの恩恵が期待されている。他方で、保険や雇用その他での遺伝子差別や社会での格差助長という意図せざる副作用が懸念されている。遺伝情報の解明がもたらす倫理的法的社会的問題としての遺伝子差別と米国遺伝子差別規制法の問題について講義し遺伝情報のプライバシー保護の必要性と遺伝子差別をめぐる問題についての理解を深める。</p>
<p>9月12日(月) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p><b>第3講:生殖補助医療をめぐる生命倫理の今日的課題</b> 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授</p>
<p>9月15日(木) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p>母体血を用いた非侵襲的出生前診断と選択的中絶、着床前診断と胚選別・救世主兄弟(デザイナーベビー)、精子・卵子・凍結受精卵の売買、代理出産と生まれてくる子ども法的地位や出自を知る権利など、生殖医療やビジネスの倫理的諸問題や生をめぐる医療技術へのアクセスの是非、優生思想と障がいの意味について「当事者性」の観点から考え理解を深める。</p>
<p>9月20日(火) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p><b>第4講:終末期医療をめぐる生命倫理の今日的課題</b> 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授</p>
<p>9月20日(火) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p>国内や海外での事例を参照しつつ、医師の自殺ほう助などの積極的安楽死、生命維持装置の取り外しや治療停止などの消極的安楽死、尊厳死、重度障害新生児の治療停止、臓器売買問題、人生の最終段階における意思決定支援とアドバンス・ケア・プランニング(人生会議)の意義、ジョンセンの4分割法などの臨床倫理の方法論について解説し、多職種協働による倫理コンサルテーションの必要性や臨床倫理相談委員会の役割についての理解を深める。</p>
<p>9月20日(火) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p><b>第5講:医学研究倫理と研究公正</b> 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授</p>
<p>9月20日(火) 16:10~17:40 オンライン講義(Zoom)</p>	<p>本学で生じたディオバン事案その他の特定不正行為や不適切な研究活動など、人を対象とした臨床研究をめぐる研究不正の原因や逸脱の標準化をもたらす隠れたカリキュラムなどの組織環境の構造的な問題、利益相反や研究審査委員会の役割と限界、被験者のリクルートや遺伝情報に関する偶発的所見の研究協力者への開示の問題など、臨床研究をめぐる諸問題について被験者保護やパターンリズムの観点から講義し、研究公正について理解を深める。</p>

※ZOOMで授業を行う。画面に氏名を表示し画像をオンにすること。チャット機能とでフィードバックコメントシートの提出により授業の出席確認を行う。10分以上の遅刻及び10分以上早くの退出は出席とみなされない。

※履修要件：最低3講以上受講の上(同内容の講義回への出席は1回とカウント)、担当教員が課す各回のフィードバックコメントシート及びレポート課題を提出すること。なお、単位認定及び成績評価は、出席要件を満たし、レポート課題を提出した年度又は3年次の年度末に行う。

## 令和4年度 医学生命倫理学概論2 講義日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 必修科目)

6月15日(水) 14:30～16:00 オンライン講義 (Zoom)	<b>死と医療と法</b>  担当：松宮客員教授(法医学)
	我が国と諸外国における安楽死・尊厳死に関する法的現状とその問題点について講義する。
11月17日(木) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)	<b>人生の終末における心の救い</b>  担当：法医学 池谷教授
	医療者としての死生観、患者およびその家族とのかかわりについて講義する。
10月14日(金) 14:30～16:00 オンライン講義 (Zoom)	<b>研究倫理</b>  担当：法医学 池谷教授
	人を対象にした研究、特に医学研究を実施する際に、理解しておくべき現代の研究倫理のルールとその基礎にある研究倫理の考え方について講義する。
10月21日(金) 14:30～16:00 オンライン講義 (Zoom)	<b>臨床倫理(特に終末期医療)</b>  担当：法医学 池谷教授
	終末期医療に臨むに際して、医療者が理解しておくことが求められる倫理的・法的ルール及び考え方、実際の対応方法について講義する。

※ 履修要件：最低2講以上受講の上、受講した講義の担当教員が課す課題またはテストにおいて60点以上得点すること。

# 令和4年度 医学研究方法概論 講義日程一覧表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 必修科目)

月日	曜日	時間	講義内容	担当教員等	ページ
5/9	月	14:30~16:00	実験動物学研究方法特論・演習 <b>(必修)</b>	大塚 哲 准教授 (実験動物センター)	P9
5/11	水	18:00~19:30	<b>※2日のうち、どちらかに出席すること</b>		
5/10 火 ~ 5/31 火			RI研究方法特論・演習 <b>(必修)</b> <b>※e-learning</b>	勝山 真人 研究教授 (RIセンター)	P10
5/17	火	14:30~16:00	一般組織化学的研究法	小林 大介 講師 (生体機能形態科学)	P7
5/30	月	18:00~19:30	遺伝子改変技術を利用したタンパク発現部位同定法	藤本 崇宏 講師 (分子病態病理学)	P7
6/2	木	16:10~17:40	形態の科学とバイオイメージング法	松田 賢一 准教授 (生体構造科学)	P7
6/8	水	①13:10~14:25 ②14:35~15:50	電子顕微鏡使用法 <b>※事前予約制</b>	松尾 和彦 助教 (生体機能形態科学)	P7
6/16	木	12:50~14:20	光学顕微鏡の基礎と細胞・組織観察への応用	田中秀央 教授/望月健太郎 助教 (細胞分子機能病理学)	P7
6/22	水	16:10~17:40	医学研究における統計学の役割	手良向 聡 教授 (生物統計学)	P10
6/24	金	16:10~17:40	医療データベース研究概論	猪飼 宏 教授 (医学・医療情報管理学講座)	P10
6/28	火	14:30~16:00	質量分析法の薬物スクリーニングへの応用	新谷 香 准教授 (法医学)	P8
6/30	木	18:00~19:30	生化学・分子生物学実験法	吉田 達士 講師 (分子生化学)	P8
7/7	木	18:00~19:30	薬理学実験のためのマウスを用いた実験動物モデル	岩田 和実 研究准教授 (病態分子薬理学)	P8
7/15	金	14:30~16:00	微生物のメタゲノム研究法	中屋 隆明 教授/西岡 敬介 助教 (感染病態学)	P9
9/6	火	14:30~16:00	遺伝子導入と遺伝子発現制御	岸田 綱郎 准教授 (免疫学)	P9
9/14	水	18:00~19:30	疾患のゲノム解析の方法	田代 啓 教授 (ゲノム医科学)	P9
9/26	月	18:00~19:30	磁気共鳴画像法(MRI)の基礎と応用	生駒 和也 准教授 (磁気共鳴室)	P8
9/27	火	14:30~16:00	イオンチャネル研究法	樽野 陽幸 教授 (細胞生理学)	P8

※ RI研究方法特論・演習については、オンデマンド形式の動画配信(e-learning)にて授業を行います。

※ 電子顕微鏡使用法については、受講者数を制限して実施しますので、希望者は後日連絡する案内に従い、事前申し込みをしてください。

※ 履修要件：「R I 研究方法特論」「実験動物学研究方法特論」の受講は必須とし、その他2講以上受講すること。

## 令和4年度 医学研究方法概論 講義内容等

### 1 形態学研究方法特論・実習

項目、講義内容	担当者	日時・場所
<b>一般組織化学的研究法</b>	生体機能形態科学 小林講師	5月17日(火) 14:30~16:00 オンライン講義 (Zoom)
<p>一般組織化学的な研究手法について、組織切片の作成方法と免疫組織化学法を中心に、その原理の解説に加え、実際の実験手順や目的にあった実験の選択方法等について概説する。</p> <p>又、<i>in situ</i> ハイブリダイゼーション法についても概説する。</p>		
<b>遺伝子改変技術を利用したタンパク発現部位同定法</b>	分子病態病理学 藤本講師	5月30日(月) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)
<p>遺伝子の機能を理解するには、遺伝子がコードするタンパク質の発現部位すなわち発現細胞の同定と細胞内局在の理解が不可欠である。また、タンパク質の機能を明らかにする上で、相互作用タンパク質の理解が一助となる。本講義では、ペプチドタグ挿入マウス及びビオチンリガゼ融合タンパク質を用いた研究を題材に、タンパク質機能局在の同定と相互作用タンパク質の同定に必要な免疫組織・細胞染色や分子間相互作用研究の方法論を概説する。</p>		
<b>形態の科学とバイオイメージング法</b>	生体構造科学 松田准教授	6月2日(木) 16:10~17:40 オンライン講義 (Zoom)
<p>蛍光タンパク(green fluorescent protein;GFP)を用いて蛍光顕微鏡・共焦点顕微鏡で特定分子、オルネガラ、細胞を標識し観察する実験が、簡便性もあり多用されている。本講義では、蛍光タンパクを用いてできることを、FRAP、FRET等の生細胞イメージング法も含めて概説する。</p>		
<b>電子顕微鏡使用法</b>	生体機能形態科学 松尾助教	6月8日(水) ①13:10~14:25 対面(第3演習室) ②14:35~15:50 オンライン(Zoom) <b>※事前予約制</b>
<p>電子顕微鏡生物試料作製法と観察法について解説する。</p> <p>なお、本講義は中央研究室の電子顕微鏡利用に必要な電子顕微鏡講演会を兼ねている。(中央研究室電子顕微鏡室、透過型電子顕微鏡(JEM-1220)の新規利用を希望する者は必ず受講すること。)</p>		
<b>光学顕微鏡の基礎と細胞・組織観察への応用</b>	細胞分子機能病理学 田中(秀)教授 望月助教	6月16日(木) 12:50~14:20 対面(第3実習室)
<p>細胞や組織の形態を可視化する光学顕微鏡は、生命科学の研究に必須のツールである。光学顕微鏡の機能を十分に発揮させるためには、光の性質や結像理論などの基本原理の理解が必要不可欠である。本講義では、それら基本原理について触れた上で、通常の透過型顕微鏡、蛍光顕微鏡、共焦点レーザー顕微鏡につき各々の仕組みや適切な扱い方を解説する。</p>		

## 2 生理学研究法特論・実習

項目、講義内容	担当者	日時・場所
<p><b>磁気共鳴画像法(MRI)の基礎と応用</b></p> <p>磁気共鳴画像法(MRI)の基礎と磁気共鳴室に設置されている動物用MRI装置の説明を行う。また、MRIを用いた研究の概要およびMRIの臨床への応用、研究への応用について解説する。</p>	<p>運動器機能再生 外科学 生駒准教授 (磁気共鳴室担当)</p>	<p>9月26日(月) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>
<p><b>イオンチャネル研究法</b></p> <p>イオンチャネルは生体膜を介したイオンの拡散を精密に調節する。様々な性質をもったイオンチャネルが存在し、神経活動をはじめとした全身の様々な生理機能への重要な役割を担っている。本講義では、電気生理学・分子生物学・生化学・分子遺伝学の手法を駆使したイオンチャネル研究法を概説する。</p>	<p>細胞生理学 樽野教授</p>	<p>9月27日(火) 14:30~16:00 オンライン講義 (Zoom)</p>

## 3 生化学研究法特論・実習

項目、講義内容	担当者	日時・場所
<p><b>質量分析法の薬物スクリーニングへの応用</b></p> <p>質量分析計(MS)は高感度に質量等の分子構造情報を与える検出法で、操作・保守が簡便で比較的安価なMSの技術開発により、ライフサイエンス領域における汎用機器として近年急速に普及している。また、MSは種々のクロマトグラフと組み合わせることで、生体試料のような複雑な組成を持つ試料の定性・定量に威力を発揮することから、薬物のスクリーニング検査に不可欠なツールになりつつある。本講義ではMSの種類や特徴を説明するとともに、1,000種類以上の薬物やその代謝物を一斉検索する薬物スクリーニング法や未知化合物の検索法を法医学教室で扱った薬物中毒症例を紹介しながら解説する。</p>	<p>法医学 新谷准教授</p>	<p>6月28日(火) 14:30~16:00 オンライン講義 (Zoom)</p>
<p><b>生化学・分子生物学実験法</b></p> <p>近年の生化学・分子生物学研究において、遺伝子発現解析、転写因子解析および遺伝子組換え生物作製は基本的実験技術である。これらの基礎的知識を再確認し、その実験方法・原理について、実際の学術論文データを参照しながら概説する。また、各々の研究者は、遺伝子組換え生物の持つ人体や環境への悪影響を最小化し、生物の多様性を保持するための方策を遵守する責務を負う。遺伝子組換え実験を実施する上で遵守すべきカルタヘナ法についても解説する。</p>	<p>分子生化学 吉田講師</p>	<p>6月30日(木) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>
<p><b>薬理学実験のためのマウスを用いた実験動物モデル</b></p> <p>生命医学研究領域において繁用されているES細胞およびゲノム編集を用いた遺伝子組換えマウスの作製方法の紹介から、表現型の解析および薬理的アプローチによるモデル動物の利用方法の基礎および応用について解説する。</p>	<p>病態分子薬理学 岩田研究准教授</p>	<p>7月7日(木) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>

#### 4 感染学研究法特論

項目、講義内容	担当者	日時・場所
<p>微生物のメタゲノム研究法</p> <p>病原微生物による感染症およびアウトブレイクへの対応には、病原体の迅速な同定が不可欠である。近年のゲノミクスの発展により、ヒトのみならず野生動物における病原体のゲノム情報は十分な蓄積があり、未知(新規)病原体であっても、そのゲノム断片の遺伝子情報を得ることができれば、即座に(近縁)微生物を同定し、以後の対策に応用できる。</p> <p>ここでは、ハイスループットシーケンサー等を用いた、各試料から微生物ゲノムを網羅的に探索し同定する技術を紹介する。その発展性や展望についても解説する。</p>	<p>感染症態学 中屋教授 西岡助教</p>	<p>7月15日(金) 14:30~16:00 オンライン講義 (Zoom)</p>
<p>遺伝子導入と遺伝子発現制御</p> <p>哺乳類細胞に対する遺伝子導入と、遺伝子発現制御の最新技術について解説します。</p>	<p>免疫学 岸田准教授</p>	<p>9月6日(火) 14:30~16:00 オンライン講義 (Zoom)</p>

#### 5 分子遺伝学研究法特論

項目、講義内容	担当者	日時・場所
<p>疾患のゲノム解析の方法</p> <p>多因子疾患やがんのゲノム研究方法を解説する。がんゲノム医療の裏付けとなっているサイエンスを理解する。</p>	<p>ゲノム医科学 田代教授</p>	<p>9月14日(水) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>

#### 6 実験動物学研究方法特論・演習

項目、講義内容	担当者	日時・場所
<p>実験動物学研究方法特論・演習</p> <p>京都府立医科大学動物実験規程及び動物実験における留意事項についての講義・演習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実験動物学概論</li> <li>2. 実験動物学に関連する法規</li> <li>3. 動物実験の福祉と倫理</li> <li>4. 京都府立医科大学動物実験規程</li> <li>5. 実験動物の取り扱い</li> </ol>	<p>実験動物センター 部門長 大塚准教授</p>	<p>5月9日(月) 14:30~16:00 オンライン講義 (Zoom)</p> <p>5月11日(水) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)</p> <p><b>※どちらかに出席すること</b></p>

## 7 RI研究方法特論・演習

項目、講義内容	担当者	実施方法
<p align="center"><b>RI研究方法特論・演習</b></p> <p>放射性同位元素(RI)の基礎的な性質と、ライフサイエンス分野における応用を概説するとともに、実際にRIを用いて研究する上での注意点などを講義する。</p> <p>1)放射線の人体に与える影響 2)放射性同位元素等または放射線発生装置の安全取扱 3)放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律</p>	<p align="center"><b>RIセンター 部 門 長 勝山研究教授</b></p>	<p>オンデマンド形式の動画配信による e-learning</p> <p align="center">&lt;受講期間&gt; 5月10日(火)～ 5月31日(火)</p> <p align="center">※詳細は<u>お</u>って通 <u>知</u>する</p>

## 8 生物統計学概論

項目、講義内容	担当者	日時・場所
<p align="center"><b>医学研究における統計学の役割</b></p> <p>医学研究において頻度流統計学(主に統計的仮説検定、P値、信頼区間)を正しく利用するための心得について解説した上で、将来主流になるであろうベイズ流統計学の基本的考え方と可能性を解説する。</p>	<p align="center"><b>生物統計学 手良向教授</b></p>	<p>6月22日(水) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)</p>

## 9 医療データベース研究概論

項目、講義内容	担当者	日時・場所
<p align="center"><b>医療データベース研究概論</b></p> <p>特定の病態をめぐる診療パターンのばらつきや長期予後の分析・評価において、従来の症例登録票に基づくコホート研究を補完・代替するデータとして、</p> <p>(1) 電子カルテに由来するデータウェアハウス (2) レセプトデータやDPCデータなどの医事データの活用が進んでおり、全国レベルでの基礎的な集計データも公開が進んでいる。これらのデータを医学研究に活用するために、データの特長や限界のほか、データの所在・利用方法・解析上の留意点などの基本を概説する。</p>	<p align="center"><b>医学・医療情報 管 理 学 講 座 猪飼教授</b></p>	<p>6月24日(金) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)</p>

# 令和4年度 加齢医科学 講義日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 選択科目)

日 時	講 義 内 容 ・ 担 当 教 員
10月19日(水) 16:10~17:40 オンライン講義 (Zoom)	<b>神経変性疾患とタンパク質分解システム</b> 担当：基礎老化学 渡邊講師
	パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症の遺伝子解析から、異常構造タンパク質封入体の構成成分をコードする遺伝子やタンパク質分解システム(ユビキチン・プロテアソーム系やオートファジー・リソソーム系)関連遺伝子の変異がこれら疾患の発症に関わっていることが明らかになりつつある。本講義では、これら疾患の基礎研究に関する最近のホットピックや我々の研究室のデータを提示しながら紹介する。
10月31日(月) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)	<b>アルツハイマー病の発症機構</b> 担当：脳神経内科学 笠井准教授
	アルツハイマー病は最も頻度の高い認知症性疾患である。現在有効な病態修飾療法は開発されておらず、その解決は喫緊の課題である。本講ではダウン症との病的類似性から類推されてきたアルツハイマー病の古典的な病態仮説である、アミロイド仮説およびその発展形であるアミロイドオリゴマー仮説と仮説に基づく治療薬開発の歴史的経緯について概説する。また近年発展の著しい核医学的バイオマーカー、髄液・血液バイオマーカーの知見について紹介する。
11月2日(水) 16:10~17:40 オンライン講義 (Zoom)	<b>認知症と神経病理</b> 担当：分子病態病理学 伊東教授
	高齢化社会において、加齢によって生じる神経系疾患の一つとして認知症は重大な課題である。認知症の原因として種々の疾患が含まれるが、代表的な神経変性疾患の神経病理を概説し、メカニズム解明に向けた研究を紹介する。
11月14日(月) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)	<b>加齢と脳機能</b> 担当：脳神経内科学 水野教授
	加齢によって生じる神経系の変性過程、特に toxic gain of function で生じる種々の神経変性疾患ならびに共通する変性メカニズムとこれに対する治療法開発を概説する。

※ 履修要件：1・2・3・4年次のうち1年間で履修。2講以上受講すること。

## 令和4年度 医療レギュラトリーサイエンス学授業日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 選択科目)

<p>6月28日(火) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>リスク・ベネフィット評価</b> <b>担当:医療レギュラトリーサイエンス学 林教授</b></p> <hr/> <p>医薬品等の品質、有効性、安全性の予測、評価、判断に関する科学としてのレギュラトリーサイエンスを概説するとともに、その中核となるリスク・ベネフィット評価について講義する。</p>
<p>7月11日(月) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>医薬品等の研究開発</b> <b>担当:医療レギュラトリーサイエンス学 林教授</b></p> <hr/> <p>医薬品等の研究開発(創薬)のあり方について、基礎研究や臨床研究の立案・遂行に必要となる事項を中心に講義する。</p>
<p>9月27日(火) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>臨床研究を行うにあたり遵守すべき法令・指針について</b> <b>担当:臨床研究推進センター 猪原講師</b></p> <hr/> <p>医薬品等の研究開発のために実施される治験や臨床研究について、研究の内容により遵守すべき法令や指針が異なる。本講義では特に、“臨床研究法”や昨年改正された“人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針”の改正ポイントなども踏まえ、研究内容により異なる遵守すべき法令/指針の概説と計画書作成～申請～実施における注意点について講義する。</p>
<p>10月4日(火) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)</p>	<p><b>革新的な医薬品等の創出とRS 戦略相談、承認審査</b> <b>担当:医療レギュラトリーサイエンス学 林教授</b></p> <hr/> <p>革新的な医薬品等の創出に向けてPMDA/厚生労働省が行うRS 戦略相談や承認審査について、関連する法規制を含めて講義する。</p>

※ 履修要件：1・2・3・4年次のうち1年間で履修。2講以上受講すること。

# 応用言語学

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 選択科目)

担当 木塚雅貴 教授

Dominic Edsall 助教

## 1 Applied Linguistics

The aim of the course is to understand what applied linguistics is all about, how its research is implemented, and what insights we can obtain from its research outcomes. Although applied linguistics is definitely a part of linguistics, it has a close relationship with some aspects of medicine. The course will mainly focus on the features which bridge the gap between language and medicine.

## 2 Course outline

The course covers the following topics in a series of six classes.

1. What is applied linguistics? (interdisciplinary study)
2. How do babies/children acquire and develop their first language? (the process of first-language acquisition)
3. How do people acquire, learn, and ultimately master their second/foreign language(s)? (second-language acquisition/learning and foreign language learning/teaching)
4. How is language processed in the brain? (neurolinguistics)
5. What relations are there between language and cognitive science? (Language- processing model on grammar and multiple intelligences)
6. How do professionals think about and use their language? (Professional expertise)

Each of the classes will consist of a one-hour lecture, followed by a half-hour essay-composition period concerning the lecture topic.

A special lecture on healthcare on remote islands in Japan is going to be delivered on the 15th of July in place of one of the aforementioned lectures.

The lecture classes will be conducted in English.

## 3 授業日程及び講義場所

①	4月25日(月)	17:00~18:30	オンライン講義(Zoom)
②	5月9日(月)	17:00~18:30	オンライン講義(Zoom)
③	6月6日(月)	17:00~18:30	オンライン講義(Zoom)
④	7月4日(月)	17:00~18:30	オンライン講義(Zoom)
⑤	7月15日(金)	17:00~18:30	図書館ホール
⑥	7月25日(月)	17:00~18:30	オンライン講義(Zoom)

# 基礎統計学

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 選択科目)

担当 長崎生光 教授  
吉井健悟 講師

## 1 授業内容

統計学の基本原理、考え方を学ぶ。平均値の検定、信頼区間をはじめとし、種々の標準的な手法の原理を学ぶ。さらに“Excel”及び“R”，“EZR”などのソフトウェアを用いた実際的な統計の処理の方法を学ぶ。

## 2 到達目標

現代では種々の統計処理に何らかの統計ソフトが利用されているが、運用に際しては解析手法の前提やそれらが示す諸々の数値の意味を正しく理解しておく必要がある。そのため、統計学の基本を十分修得することを目標としたい。基本的な考え方が分かれば、実際的な種々の応用においても正しい処理方法が理解できるであろう。

## 3 授業方法

講義と演習の併用（演習はオフィスアワーとして設定する。）

この科目の受講手続きをされたときは、第1回の講義までに下記アドレスにメール（携帯メール不可）を送ってください。受講者は、可能であればノート型パソコン(Mac 又は Windows)を持参してください。また、データ整理用ソフトとして“Excel”，分析用ソフトとして“R,” および“EZR”を用います。

(注) “R” はフリーの統計ソフトです。“EZR” は“R” のパッケージです。

## 4 教室及び授業日（曜日）

講義 金 17:00～18:00

演習 教授室 月 16:00～17:00 火 16:00～17:00

なお、第1回目の講義は 9月30日（金）です。

## 5 単位認定方法

授業内容の理解度及びレポート課題の達成度によって評価する。

## 6 その他

基礎統計学1 教授室（下鴨学舎） Tel. 703-4933

メールアドレス

nagasaki@koto.kpu-m.ac.jp

○基礎統計学（長崎教授、吉井講師）

・講 義

	1 週	2 週	3 週	4 週	5 週	6 週	7 週
金曜日	9/30	10/7	10/21	10/28	11/11	11/18	11/25
場 所	オンライン講義 (Zoom)						

・演 習（オフィスアワーとして設定）

場 所： 基礎統計学教授室（下鴨学舎）

	1 週	2 週	3 週	4 週	5 週	6 週	7 週	8 週
月曜日	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31-	11/14	11/21	11/28
火曜日	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/15	11/22	11/29

## 【連絡事項】

- ※ 講義の日程や実施方法等に変更があった場合は、koto メールにてお知らせしますので、確認するようにしてください。
  
- ※ 大学院授業科目（共通領域）および大学院特別講義の日程は、京都府立医科大学 HP に PDF 化したものを掲載していますので、適宜活用してください。  
アクセス URL は以下のとおりです。

京都府立医科大学ホームページ

HOME > 学部・大学院 > 大学院医学研究科 > 博士課程講義日程

<https://www.kpu-m.ac.jp/doc/department/igaku/kougi.html>